

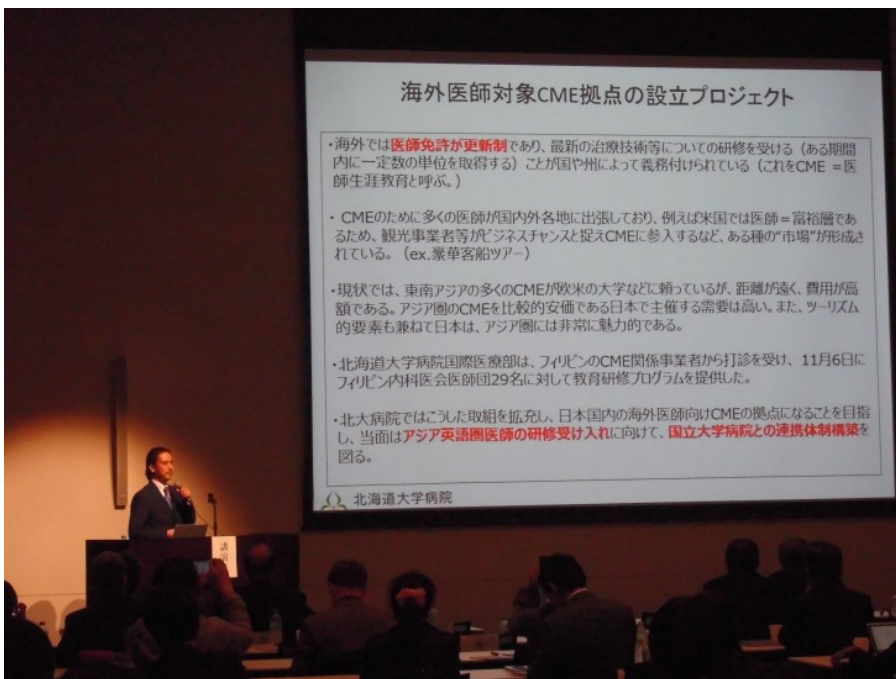


国際医療シンポジウム「日本の国際医療2015」において講演しました

12月11日（金）、イイノホール（東京都千代田区）において、「日本の国際医療2015 ～行政、大学の取組みと今後の課題解決に向けて」と題したシンポジウムが大阪大学主催のもと開催されました。

本院国際医療部が共催となったこのシンポジウムでは、国際医療に取り組む関係省庁から医療のインバウンドへの取組み等について講演があった後、アカデミアの取組みとして国際医療に取り組む国立大学病院の講演がありました。

本院からは国際医療部副部長であるピーター・シェーン准教授が「海外医師のための医学生涯教育プログラム」について、11月6日（金）に本院国際医療部が実施したCME（医学生涯教育）セミナーを実例に挙げて講演を行いました。



講演するピーター・シェーン准教授

北海道大学病院の海外医師CME拠点を 活用した関連産業振興プロジェクト

<北大病院 海外医師CME拠点イメージ>



CME 拠点イメージ図